

中学校区におけるめざす子ども像 自ら学び 自ら取り組み 自ら表現できる子どもの育成										堺市立五箇荘小学校 校長 川端 健人					
令和8年度 教育目標「地域とともに輝く子」 重点目標 「自ら学びを進める児童の育成」 重点課題 ●確かな学び ・静謐な教育環境と居場所と出番のある教室の構築 ・重点目標達成に向けた授業改善 ・重点目標達成に向けた家庭学習の充実 ・基礎的・基本的な知識・技能の習得の徹底 ・幼保小連携の充実 ・学校群マネジメントをいかした取組の充実 ●豊かな心 ・教育活動全般を通じた人権教育の推進 ・「考え・議論する道徳」の充実 ・堺スタンダードの実施 ・キャリアパスポートの活用 ●健やかな体 ・体育授業の改善 ・体力向上の取組の推進 ・食育の充実 ●学校マネジメント力 ・教師力の向上のための校内研修の充実と研修内容等の共有 ・コンプライアンスの徹底・ハラスメントの防止 ・学校徴収金事務の処理の適正化と公会計化への準備 ●誰一人取り残さない教育 ・特別支援教育及び校内委員会の運用の充実 ・不登校児童等への対応の充実 ●こどもの安全・安心 ・いじめの未然防止・早期発見・組織的対応の充実 ・危機管理・安全管理体制の構築 ・食物アレルギー対応の徹底 ●社会で支えるこどもの育ち ・家庭・地域・関係機関との協働															
・昨年度、「自分の思いや考えを表現できる児童の育成～話す能力・聞く能力を生かして～」という教科研修主題で研修を行った。そして、児童の話し方、聞き方、そして、友達の発表を聞いて考えを広げる方法などについて学ぶことができた。しかし、話を自分事としてとらえず、主体的に最後まで話を聞くことができない児童もいた。また、友達の意見を聞いて、自分の考えを見つめなおす段階に届いていない児童もいた。そこで、まわりのことや世界のことを自分事として考えられる児童の育成を目標として、今年度の教科研修主題を「主体的に学ぶ児童の育成～児童が主体的に学ぶ環境作りを通して」とする。 ・主体的に学ぶ児童の育成のためには、学びに向かう姿勢を確立することが基礎になる。「五箇荘の学習規律」、「話す聞くのきまり」「声のものさし」の指導も、全学年で継続して取り組む。そして、しっかりと学習習慣を身に付け、落ち着いて学習環境を整えて学習することができるように努める。 豊かな心・健やかな体の現状 ・昨年度と比較してみると、全体的に前年度より下回る種目が減ってきている。学年ごとに見ていくと、各学年の運動に対する得手不得手の特徴が出ている。全体的に、堺市平均値とは差異はないが、反復横跳びの記録が全体的に低い傾向にあるため、慣れない動きであることもあり、事前に練習するなど、テストで力が発揮できるように準備をしていきたい。 ・体育の運動で体を動かすことが好きになった児童が下向傾向にある。体を動かすことが好きな児童がこれ以上減らないように、体育以外にも体を動かす場や楽しさを広げていく必要がある。積極的に体育館開放など、運動す場や機会を広げていく。 ・体力づくりにおいて、日常活動できる場面を作り、たてわり班で活動するなど楽しみながら体力向上につながる運動ができるようにし、全体的な体力の底上げをめざし、体力向上に取り組んでいく必要がある。															
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (年度途中)	達成状況(年度末)							
								自己評価		学校関係者評価					
確かな学び	授業力の向上	主体的に学ぶ児童の育成～児童が主体的に学ぶ環境づくりを通して～	●教科研修主題主体的に学ぶ児童の育成～児童が主体的に学ぶ環境づくりを通して～」に向けて校内研究授業を年3回行い、討議会をも全職員で行う。★学校群の合同研究授業・夏季研にも参加する。	・研究授業の実施回数	実施状況	2月初旬									
			●教科研修主題の実現に向けて、児童の話す能力・聞く能力を活かせるように低・中・高学年別に実態を調査、授業改善の検討を重ね、児童の思考や表現に生かせる授業展開を考え、日々の授業に取り組む。	・全職員で実施できている	実施状況 授業観察 研修でのふりかえり	毎月 2月初旬									
	学習環境の整備	学びに向かう姿勢の確立	学習規律(授業の準備・チャイム着席・下じきを使う・定規を使う・名前を丁寧に書く)を定着させる。	・児童アンケートで「学習規律を守っている」の肯定的回答が85%以上になる。	状態についての協議 児童アンケート 授業観察	毎月 12月頃									
			話す・聞くのやくそく(話を最後まで聞く・話し手の目を見て聞く・場に応じた声の大きさで話す・はい…です(ます)と言う)を定着させる。	・児童アンケートで「話すとき・聞くときの約束を守っている」の肯定的回答が85%以上になる。	状態についての協議 児童アンケート 授業観察	毎月 12月頃									
豊かな心・健やかな体	体力の向上	体力向上をめざした授業研修	時期ごとに、児童が意欲的に取り組めるような運動例を全職員で共有し、体育科の授業向上を図る。	・児童アンケートで「体育の運動で、体を動かすことが好きになった。」の肯定的回答が85%以上になる。	状態についての協議 授業アンケート 授業観察	毎月 12月頃									
			体力向上につながる授業実践と行事の計画	過年度の結果をもとにして、各学年の苦手種目の動きを高めるための運動を年間を通して行う。	・全学級で実施できている。 ・昨年度の体力テストの結果よりも向上が見られる。	状態についての協議 体力テスト 授業観察	毎月 12月頃								
		全児童が参加できる運動が中心となるような体育的行事を計画し取り組む。		・全学級で実施できる体育的行事を実施している。	実施状況	2月初旬									
	自尊感情の育成	人を思いやるきれいな心を育む	各学年の実態に応じ、道徳や学級活動で互いの良さを認め合う取り組みを行う。	・全学級で実施できている。	状態についての協議 授業観察	毎月 12月頃									
			全職員がいじめ防止に対する知識を持ち、児童が安心して登校することができる学級環境をつくる。道徳や学級活動でいじめ問題、上手な友達のかかわり方など、他者理解につながる取り組みを行う。	・全学級で実施できている。	状態についての協議 生活アンケート 授業観察	毎月 12月頃									
			なかよし活動(異年齢交流)を毎月1回行い、助け合う心、思いやる心を育む。	・実施できている。	状態についての協議 児童の様子	毎月 12月頃									
	地域協働	地域の育成	自ら進んであいさつする子を育てる	児童会が中心となり、児童への啓発を行い、校区交通指導員やPTA安全見守り隊の方へ感謝の気持ちを伝える場面としてのあいさつについて考える機会を設るなど、進んであいさつをする子を育てる。	・対面式とあいさつ運動の実施 ・児童アンケートで「すすんであいさつをしている」の肯定的回答が85%以上になる。	実施状況 児童アンケート	12月頃 2月頃								
		地域人材の活用	地域人材を活用した学校への支援体制をつくる	コミュニティスクールコーディネーターや教育ボランティアによる教育活動への参画ならびに授業支援の実施。	・全学年で実施できている。	実施状況	毎月 2月頃								
	校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)						